

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)	◎	－	－
	○	スーパー（店長）	・お盆に向けて更なる回復が見込まれる。値上げの流れは落ち着く方向にあると考えられ、米についても今後は値下がりする予測である。前年と比べて高単価商品の動きも回復傾向にある。特にお盆については、食品のみならず、行楽関連を含む非食品分野でも需要の伸長が見込まれる。
	○	コンビニ（店長）	・梅雨が明ければ本格的な夏になるため、飲料を中心に売上が伸びるとみられる。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	・公共工事が増え、朝の来客数が増加している。また、ベーカリーやファーストフードの販売が好調を維持すれば、一定の需要が期待できる。今年も猛暑が予想され、こうした動きを後押しすることが見込まれる。原材料価格の高騰で最終収益は厳しいとみられるが、それ以上に販売量が増加することが期待できる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・新型車への注目の高まりで客の動きが良くなり、販売台数も増えてきている。
	○	乗用車販売店（統括）	・久々の新型車発売により、販売状況の改善が見込まれる。
	○	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・梅雨明けに伴う天候回復により、客足が戻ってくるのが期待できる。
	○	その他専門店〔時計〕（経営者）	・物価高騰による消費抑制はあるが、銀行金利の上昇で、消費回復が期待される。
	○	その他専門店〔宝石店〕（店員）	・ボーナスの支給が始まり、客の購買意欲が高まっている。これにより、前月及び前々月と比較して、高額商品の購入を検討する来店客が増加している。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・為替相場や株式市場の好調などを背景に、景気の回復がみられる。
	○	高級レストラン（事業戦略担当）	・夏に向け、梅雨明け頃から客足の回復が見込まれる。
	○	一般レストラン（経営者）	・中東情勢が落ち着けば、少し良くなっていく。
	○	バー（経営者）	・やや好調な状況が続いており、今後もこのまま上向き基調を維持するとみられる。
	○	通信会社（企画・総務担当）	・競合各社を含め、利益率の高い新サービスや価格改定を打ち出している。競争市場ではあるが、業界全体としての活気がある。
	○	住宅販売会社（住宅設計担当）	・中東情勢が落ち着きつつある一方で、資材価格の高騰が続くなか、購買に向けた動きが出てきている。
	□	商店街（代表者）	・客が余分な商品を購入する動きはなく、最初から必要な商品のみを求めて来店している。
	□	商店街（代表者）	・景気は今後も下向き傾向で推移するとみられるが、夏季の観光客の増加や発行予定の買物券による消費喚起効果に期待している。
	□	商店街（理事）	・景気に大きな変化はなく、現状維持で推移するとみられる。
	□	一般小売店〔食品〕	・中東情勢の影響による値上げは続いており、顧客の節約もあって販売数量は減少し、売上は現状維持が続くとみられる。
	□	一般小売店〔印章〕（経営者）	・夏に向けて、改善の兆しはみられない。
□	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・梅雨に入るため、客足はやや遠のく。	
□	百貨店（営業担当）	・景気動向や国際情勢が不透明で、消費者の購買行動は慎重になる。	
□	百貨店（営業担当）	・購買を控える層や慎重な購買層に変化はみられない一方で、購入する層や高額品を求める層は継続して購入しており、全体としては大きな変化はない状況である。	
□	百貨店（営業担当）	・景気回復の兆しがない。	
□	百貨店（営業担当）	・景気回復のきっかけが特にならない。	
□	百貨店（売場担当）	・世界情勢が落ち着かない限り、物価上昇は続く予想され、現在の厳しい状況が継続するなか、地域の閉塞感も打開できない。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	・富裕層の購買意欲が高まっている一方で、食品を始めとする値上げの影響もあり、中間層の購買意欲は低迷したままである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ガソリン価格の高騰や物価上昇、ナフサ価格上昇に伴う包装資材の高騰などで経済の悪化が予想される。一方で、食品の購入金額は大幅に減少しないとみられ、買上点数は減少するものの、1品単価の上昇で売上はそれほど変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業システム担当）	・今夏は値上げが多く、買上点数は減少方向にあるものの、定着した特売日には来客数が跳ね上がる。お盆への影響については不透明であり、先行きは見通せない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・中東情勢の影響で、原油由来製品や物流関連コストの上昇が続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・ヒット商品の兆しはなく、値上げも続いていることから、状況に大きな変化はなく、先行きへの期待は余りない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・景気が良くなる要素はない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（代表）	・不景気のなかでの金利上昇により、消費マインドは更に低迷するとみられる。一方、プレミアム付商品券の発行により、一時的に景気が持ち直すが、全体として景気状況は変わらないとみられる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・エアコンの省エネ基準の強化や当県のエコキャンペーンの後押しもあり、需要の先取り傾向がみられる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（副店長）	・半導体関連の価格転嫁の影響により、いろいろな商品の価格が上昇し、売行きが悪くなるとみられるが、2～3か月先については現状と同程度の来客数と販売量が予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・部品の仕入単価が上がっているため、景気が良くなる要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（リース担当）	・ディーゼルオイルやL L Cなどの油脂類の不足や価格上昇により、客にとっては不景気感が強い状況にあるとみられる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・今後の市場の動きは読めないが、例年の状況まで市場が回復すれば、遅れ分を取り戻すことは可能である。これからが踏ん張りどころとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（業務担当）	・販売台数は現在とそれほど変わることはない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・経営面では、利益率の高いディナータイム利用の減少と、利益率の低いランチタイム利用の増加という傾向が今後も続くことが見込まれる。また、ランチメニューの価格改定に踏み切った場合には、客離れが生じる可能性も懸念される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店長）	・物価高の影響により、外食控えは今後も続くと考えられる。商圏の変化に伴い店舗周辺の来客数も減少傾向にあり、当面は厳しい状況が続くものと考えられる。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	・中東情勢の正常化は期待できない状況であるが、夏休み需要の取り込みに注力していく。海外旅行は安近短の傾向が続いており、ハワイは好調を維持しているが、欧州を始めとする長距離方面の伸びがなく、取扱額は前年の約95%となっている。国内旅行については、夏休みの個人需要は堅調で、前年並みで推移している。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・迎車料金が必要な配車アプリを使ってタクシーを呼ぶ利用者数が多少減少している。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・現状より良くなる要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	タクシー会社（営業所長）	・先行きについては、梅雨に伴う雨天時の利用増加が一部見込まれるものの、物価上昇に伴う節約志向の影響が続いており、全体として大幅な回復には至らないとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（総務担当）	・中東情勢の先行きが不透明であり、改善するにも時間が掛かる可能性がある。
<input type="checkbox"/>	通信会社（運用担当）	・中東情勢による経済の不安定化が続いている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・気候変動や猛暑に関連する商材の取扱はなく、秋口に向けて、営業のきっかけとなる話題に乏しい。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（業務担当）	・7月と8月の予約に伸びがなく、前年を下回っている。天候次第では直前の予約に期待するが、猛暑予報なので先行きは不安な状況にある。

□	ゴルフ場（営業担当）	・ここ数年、猛暑の影響で7月と8月は予約が低迷しており、状況に変わりはないとみられる。
□	設計事務所	・状況が変化するような情報はない。
□	設計事務所（経営者）	・建築費の高騰が続くことが予想され、人手不足も追い打ちを掛けている。
□	住宅販売会社（営業担当）	・ナフサ不足等が解消していくとみられる一方で、一度上昇した物価は下がりにくく、金利は上昇傾向が続くと考えられる。
▲	商店街（代表者）	・客が買物に慎重な姿勢が続き、先行きが見えない。
▲	商店街（代表者）	・中東情勢が落ち着かない限り、物価の安定は見込みにくく、金利も上昇するなかで、中小企業にとっては非常に厳しい状況が続くとみられる。
▲	一般小売店〔茶〕（経営者）	・特に国内の売上が低迷するような予感がする。
▲	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・商品が値上がりしているため、今後も買い控えの傾向は続く。
▲	スーパー（店長）	・商品価格は上昇傾向にあり、今後もその流れに変化はないとみられる。また、販売数量が下がることが懸念される。
▲	スーパー（店長）	・競合店の出店はディスカウントストアやドラッグストアが中心となっており、低価格を強みとする競合店が消費者ニーズに応える形で出店を続けている。このような状況のなかで、スーパーマーケットは価格面で追い付けない状況が続き、経営環境は一層厳しくなる。
▲	スーパー（店長）	・商品の値上げの影響により、節約志向が高まっている。
▲	スーパー（業務開発担当）	・平均単価は3ポイント上昇したが、販売点数は8ポイント減少、来客数は7ポイント減少、売上も6ポイント減少と、全体として厳しい状況にある。夏場の回復が期待されるものの、当面この傾向が続く可能性が高い。
▲	スーパー（財務担当）	・7月以降も物価の上昇が予想されるため、顧客の低価格志向がますます強まり、客単価が低下する。
▲	衣料品専門店（経営者）	・呉服業界では、西陣織の織元や機屋の廃業が相次ぎ、職人の離職も進むなど厳しい状況が続く。
▲	衣料品専門店（経営者）	・来店促進の取組は継続しているものの、勢いに欠ける。
▲	家電量販店（企画担当）	・現在はエアコンの販売が好調であるため状況は良いが、需要が落ち着く時期には販売の伸び悩みが見込まれる。また、物価高の影響による買換え需要の鈍化も進むと見込まれ、売上は落ち込むとみられる。
▲	乗用車販売店（店長）	・人気車種の有無による影響が大きいなかで、今後はその効果は期待しにくい状況にある。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・物価高や買い控えの影響で、末端の小売店では仕入価格の高騰との間で利益の減少が懸念される。
▲	その他専門店〔革製品〕（店主）	・材料価格の上昇が経営に響いている。例えば、利益率の高かったゴールド製品は、10年前の約2倍の値段にしても利益は少なくなっている。これ以上の値上げも難しい。その他の材料も価格上昇が続いているため、景気はやや悪くなる。
▲	観光型ホテル（副支配人）	・中東情勢の影響により、いろいろな物の価格が上昇し、消費が抑制されることで、行楽客は減少すると予想される。
▲	都市型ホテル（宿泊担当）	・周辺でのホテル開業やリニューアル完了に伴い、競合環境に変化が生じると予測している。
▲	都市型ホテル（宿泊担当）	・今年の猛暑予想による旅行マインドの低下が懸念されることと、増加傾向にあるインバウンドも日本の暑い夏を避けるような動きがある。
▲	旅行代理店（支店長）	・収入が変わらないなかで、中東情勢の影響を含め物価上昇が進むと想定される。
▲	通信会社（広報担当）	・物価上昇に消費者が追い付いておらず、買い控え傾向となる。
▲	放送通信サービス（総務経理担当）	・中東情勢の影響で物価が押し上げられ、ケーブルテレビなどの可処分所得に関わる支出に影響が出る可能性がある。
▲	競艇場（企画営業担当）	・今月と同等の売上が見込めるレースの実施はない。
▲	美容室（経営者）	・物価高騰や住宅ローン金利の上昇など、生活に関わる金銭的負担の増加が中小企業に与える影響が大きくなっている。
▲	美容室（経営者）	・物価が上昇し続けており、厳しい状況にある。客とも物価を抑える方法について話をしている。

	▲	設計事務所（経営者）	・ナフサ価格高騰の影響が収束し、価格上昇感が和らぐとの期待があり、意思決定には時間を要する。
	▲	住宅販売会社（事業推進担当）	・金利上昇がほぼ確定したため、予算に余裕がある人も将来を見据えた慎重な借入れをし、余裕を持った資金計画での購入者が増加している。また、顧客が購入しやすい価格帯の物件でも、無理をしなければ購入が難しい状況となるため、販売の鈍化は加速するとみられる。
	×	コンビニ（エリア担当）	・中東情勢の影響により、石油関連商品が値上がりし、それに伴い全体的に商品価格が上昇しているため、売上を確保することが難しい状況である。7月には商品が更に値上がりすることから、今後も非常に厳しい経営が続くとみられる。また、10月からは人件費も上がるため、経営努力を重ねても、毎月血がにじむ思いで経営を続けていかなければならない状況である。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・最低賃金が引き上げられると、中小企業では人件費の上昇が経営悪化に直結する。半導体関連は景気が良いとみられる一方で、非半導体企業が大半を占めるなかで、賃金上昇は慎重に検討すべきだと考えられる。こうした状況下では、今後も消費者の財布のひもは更に固くなると予想される。
	×	住関連専門店（営業担当）	・7月以降は商品の値上げが増え、価格上昇が進むとみられる。
	×	一般レストラン（経営者）	・生活の要である日用品や食料品、光熱費の値上がりが家計を圧迫しているため、一時的な景気対策をしても実感が得られない。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・7月の宿泊予約ペースは前年比マイナス3%、8月は前年比マイナス6%以上となっている。宴会需要も7月は前年比マイナス5%と鈍化している。
	×	通信会社（営業担当）	・物価高傾向が続く一方で、有効な対策がないのが実態であり、消費はより冷え込むとみられる。
	×	テーマパーク（営業担当）	・近年続く猛暑の長期化により、屋外型の観光は難しい状況となっている。
	×	美容室（経営者）	・客の仕事の見通しが芳しくないことから、節約志向に入る客が増えてくると考えられ、景気は悪化する。
企業 動向 関連  (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	・2～3か月後も多忙な状態が続く。
	○	化学工業（総務担当）	・以前の値上げの動きは落ち着きがみられるものの、モノの動きには慎重な面が見受けられ、景気の様子見の状況が長期化するとみられる。こういった状況については、中東情勢が落ち着けば一定の回復につながり、景気も上向くとみられる。
	○	一般機械器具製造業（管理担当）	・引き続き米国向けの引き合いが強い。
	○	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・受注先の内示情報によると景気は上向く。
	○	輸送業	・受注が増えている。
	□	農林水産業（従業員）	・景気が好転する要素がない。
	□	繊維工業（財務担当）	・円安の影響や金利上昇による借入金利息の増加が受注や購買行動を抑制する可能性がある。
	□	化学工業（総務担当）	・中東情勢が解決しない限り、今後の見通しは分からない。
	□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・中東情勢の先行きが不透明であり、国内でも消費税減税の方針など不確定要素があることから、今後2～3か月先まではこうした不透明感が続くともみられる。
	□	非鉄金属製造業（業務担当）	・業界により濃淡はあるが、受注状況に大きな変化はない。
	□	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はない。
	□	電気機械器具製造業（総務担当）	・それぞれの事業はしばらく現状が続く見通しである。
	□	建設業（経営者）	・引き合いがあっても受注の拡大には至っておらず、景気は現状維持とみられる。
	□	建設業（総務担当）	・受注は順調に推移すると見込まれるものの、長期の大型工事が中心であり、売上への反映には時間を要するので注視が必要である。
	□	輸送業（業務推進担当）	・特に大きなプラス要素やマイナス要素もなく、取引先の動向にも目立った様子はない。

	<input type="checkbox"/>	輸送業（企画担当）	・中東情勢や米中関係を始めとする世界情勢の変化に左右されるものの、報道などから判断する限り、大きな変化や影響はみられない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	・受注量及び顧客動向に大きな変化がない。
	<input type="checkbox"/>	通信業（企画担当）	・資材価格の高騰や中東情勢の先行きが不透明であることから、関連するIT機器やクラウド、データセンター関連の価格や納期への影響が懸念される。顧客の購買意欲にもマイナスの影響が及ぶとみられる。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・中東情勢の影響による資材価格の高騰や納期遅延等は2～3か月先も続くと予想される。
	<input type="checkbox"/>	金融業（経済産業調査担当）	・中東情勢を背景とした原油価格高騰の影響が徐々に顕在化するとみられるものの、政府の各種施策により、大幅な景気悪化は回避されるものと予想される。
	<input type="checkbox"/>	金融業（主任）	・どの業態からも市場動向が読めないとの意見が多く、引き続き中東情勢の影響を注視し、様子見するムードが強いとみられる。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の需要が落ち着く時期でもあり、今月と同程度に推移すると予測する。
	<input type="checkbox"/>	会計事務所（経営者）	・不安定な原油情勢が長引けば、顧客企業の業績低下を通じて自社の受注にもマイナスの影響が出ることを懸念している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	・値上げラッシュで買い控えが進み、生産量と販売量が減少していく状況である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（営業担当）	・値上げを予定している。納品単価を上げるため、受注量が減少することが予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	鉄鋼業（総務担当）	・中東情勢の影響により、取引先の稼働が減少する懸念がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金属製品製造業（総務担当）	・自動車業界からの受注は7月出荷で一旦落ち着き、その後の受注の見込みはまだ聞いていない。他業界から受注を取り込んで生産を確保したいが、まだ見通しは立っていない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	・今年度に入ってから、毎月のように作業費の値上げ要請がきている。そのため、販売価格を引き上げざるを得ない状況である。今後の申込件数に影響が出ると懸念している。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・購入品の単価が上昇している。
雇用 関連 (中国)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・ボーナス時期となるため、転職市場が例年どおり活発化する。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営企画担当）	・変動要因が特に見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（総務担当）	・県内の繁華街での景況ヒアリングを実施した結果、集客が総じて伸び悩んでいる。平日が好調で週末が低調な店舗や、逆に週末は好調でも平日が低調な店舗がみられるなど、各地で苦戦している。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（新卒採用担当）	・採用ニーズはあるが、求人数自体は大幅に増えない状況が続くと予想している。企業のコストに対する慎重な姿勢は急に変わるものではなく、大幅な採用枠の拡大や新規事業のための大量募集といった前向きな動きは期待しづらい。一方で、退職による欠員補充の求人は一定数発生するので、求人市場全体としては大幅に落ち込むことはなく、現状維持で推移するとみられる。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（新卒採用担当）	・新卒求人を扱うなかで、顧客動向を見ると、採用環境に大きな変化はない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・中東情勢の安定化が進めば、安心感が広がり、車両等の耐久消費財も持ち直すと考えられるが、まだ様子見の段階である。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・中東情勢はある程度落ち着いた感があるものの、今後については依然として不透明な部分がある。物価上昇は賃上げを上回り、先行きは見えない状況である。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・求職者数は横ばい、求人件数と就職件数は減少傾向が続いており、この状況を大きく変える要素は見当たらず、しばらくこの状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（事業所部門）	・中東情勢の影響による物価上昇が続くと厳しい状況になる企業は多いものの、現時点では雇用情勢に大きく影響する段階には至っていない。

□	職業安定所（事業所担当）	・求人動向は産業別に差がみられるものの、人手不足の状況は当面続くものとみられる。一方、中東情勢の影響による原油価格の上昇に伴い、原材料費や燃料費の高騰による収益圧迫が製造業や建設業を始めとする幅広い業種で生じている。また、サプライチェーンの不安定化が生産活動に及ぼす影響も懸念されることから、今後の動向を注視していく必要がある。
□	民間職業紹介機関（職員）	・求人はあるものの人材確保が進まず、計画の実行が停滞するなかで、競合企業、特に大手企業は更なる成果を出し、その差は拡大する一方である。特殊な技術や強みがなければ、やがてとう汰されることになる。
□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・ビザ関連の手続変更に伴う派遣企業の受入れの柔軟化は今後も継続する。
▲	人材派遣会社（支店長）	・エリアの基幹産業の低迷が続き、新たな分野でも好況感がないため、全体的に景気は悪化する傾向にある。
▲	人材派遣会社（求職者対応）	・例年7月と8月は求人数が減少し、それに伴い応募数も減少する。
▲	求人情報誌製作会社（広告担当）	・採用人数については、一部では景気の影響を受けるものの、現在は人手不足の影響の方が大きいとみられる。以前は景気悪化に伴い採用人数を大幅に減らす動きがあったが、現在は生産年齢人口の減少や団塊世代の大量退職、技能継承問題などを背景に、景気がやや悪化しても採用人数を維持する企業が増加している。ただし、自動車関連や輸出依存型メーカー、半導体設備関連は世界景気の影響を受けやすく、企業ごとのばらつきがある。当県では、大手自動車メーカー及び関連部品メーカーの採用動向が県全体に大きな影響を与える。
×	—	—